

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書 (工事)

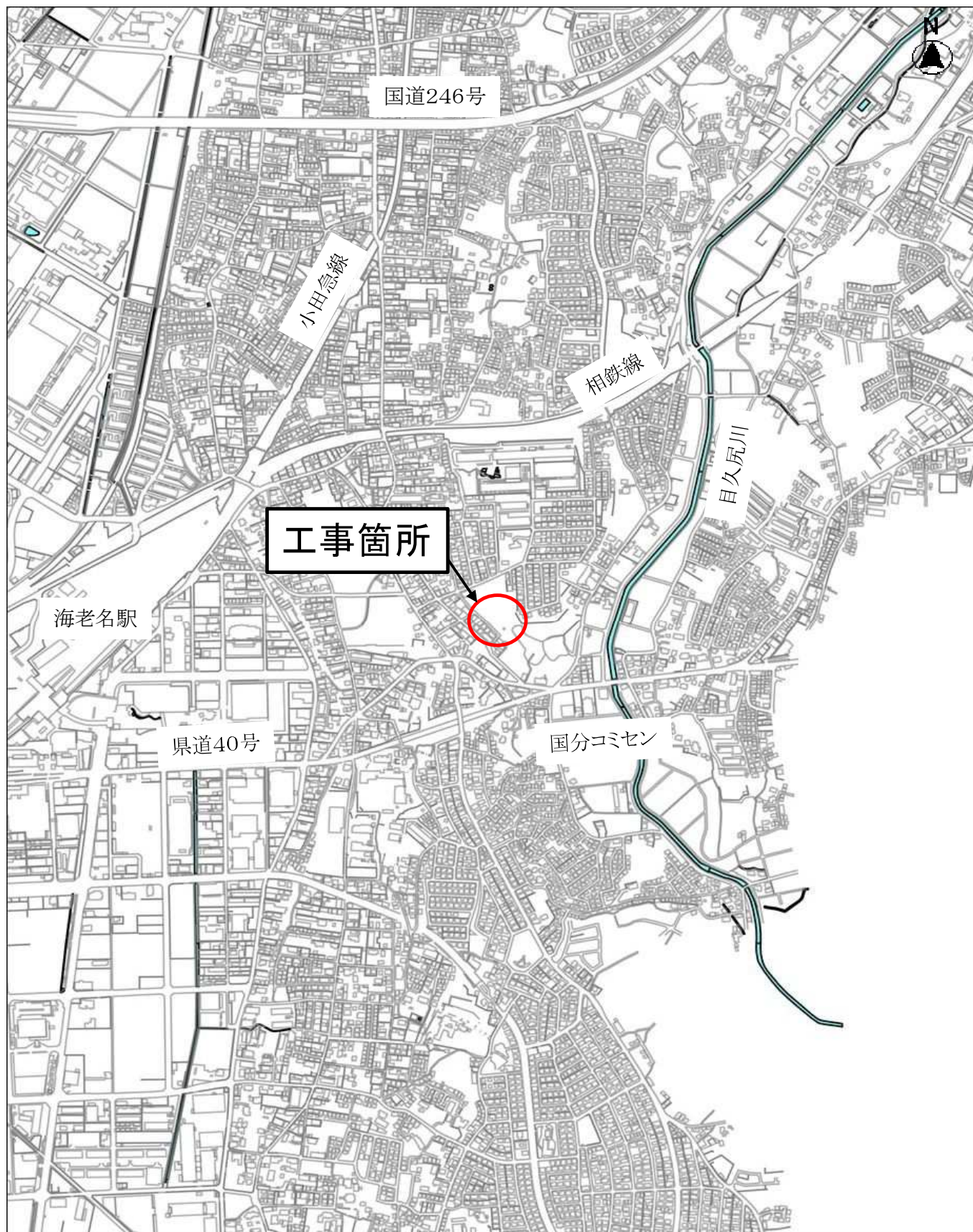
契約番号 : 7153

件 名	伊勢山自然公園法面对策工事	
履行場所	海老名市国分南二丁目 地内	
工 期	令和7年10月6日～令和8年2月27日(145日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり ○週休2日制確保工事の対象案件	
予定価格	71,984,000 円 (税込)	65,440,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (事前算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参 加 条 件	営業種目	010 土木一式 経審 550 点以上 - 点未満 ※経審は最新の評価点で判断します。		○下請契約の請負代金の合計の額が5千万円（建築一式工事の場合は8千万円）以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 1 区分		第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く		
	落札件数制限	あり （第1区分及び第2区分の同日開札の <u>工事</u> で、基本数 <u>1</u> 件まで） 詳細は入札説明書等を参照してください。		
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任（監理）技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。		
事前提出書類 （システム添付）		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していることを証する書類の写し。（次の（1）～（3）のいずれか） （1）経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し <u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> （2） <u>（同通知書発行後に社会保険に加入した場合）</u> 健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し （3） <u>（法令に基づき社会保険適用を除外されている場合）</u> 健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書		
入札時提出 （システム添付）		○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書（工事入札時システム添付）」をダウンロードして使用してください。 <u>システムへはPDF化して添付してください。</u>		
落札候補者が提出する書類 （FAX046-232-6574）		開札後、落札候補者は次の書類をF A Xで提出してください。 （落札候補者決定の翌開庁日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。） ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類 <u>※健康保険被保険者証の写しを提出する場合は、被保険者等記号・番号及び保険者番号（3箇所）にマスキング（黒塗り）をして提出してください。</u>		

案内図

伊勢山自然公園法面对策工事



工 事 説 明 書

(特 記 仕 様 書)

工事件名 : 伊勢山自然公園法面对策工事

公園名称 : 伊勢山自然公園

工事場所 : 海老名市 国分南二丁目 地内

1 目 的

- 本工事は、伊勢山自然公園の一部が土砂災害特別警戒区域等になっていることから、その解除のための対策工事を行うものです。また、隣接した土地に新設される公園に接続する階段を設けるものです。

2 工事概要

- | | |
|-----------|----|
| (1) 法面对策工 | 1式 |
| (2) 付帯施設工 | 1式 |
| (3) 仮設工 | 1式 |

3 仕 様(施工管理)

- 本工事は、海老名市土木工事共通仕様書及び海老名市土木工事施工管理基準に基づき施工すること。
- 型枠材料については、熱帯雨林材の使用を避けること。
- 原則として、アスベストを原料としない建材を用いて施工すること。
又、使用材料について、アスベストを原材料としていない旨の証明書をメーカーより提供させ、監督職員の確認を得ること。
なお、再生砕石(RC-40)を使用する場合は、必ず「アスベスト不使用証明書」を提出する事。
- 海老名市公共工事デジタル写真管理要領に基づき工事写真を作成し提出すること。
- 設計計画高等、必要段階においては監督員に立会いを求め、承認の上施工を実施するものとし、事前に段階確認予定を定め施工計画書に明記すること。
- 本工事請負業者は、再生砂(RC-10)を使用する場合、製造者側から試験結果報告書を手し、六価クロムに係る環境基準の適合確認をした上で、監督員に報告書を提出し、確認を受けること。

4 工程管理

○ 契約工期

令和7年10月6日 ～ 令和8年2月27日

- 詳細な工程については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

5 安全対策

- 道路使用許可条件(交通管理、施工時間等)を遵守すること。

尚、利用者の安全上やむを得ず施工時間が許可範囲を超えてしまう場合は、監督員に連絡するとともに、交通管理者に連絡をする事。

- 工事区域の安全対策を十分に施し、施設管理者、施設利用者及び現場作業員等の安全を確保すること。

- 特に作業を行わない時は第三者が工事区域内に入り込まないように、安全対策(安全柵・チューブライト等により)を行うこと。

※特に夜間の安全管理については、留意すること。

- 工事休工中等、現場での作業を行わない場合は、建設機械、使用材料等を道路に放置しないこと。

- 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

6 仮設備関係

- 仮設備(現場事務所等)の建設は、位置、規模等について監督員の承諾を得ること。

- 工事用電力、用排水、水道、仮設駐車場等は、請負業者の負担とする。

7 道路関係

- 一般道路を工事用資器材等の搬入に使用場合は、搬入経路・使用期間等を明確にすること。

- 一般道路を占有する場合は、関係法令を遵守し、道路管理者、交通管理者等の許可を得ること。

- 工事車両については、速やかに工事エリア内に誘導し、道路上では工事車両を待機させず、一般車両の通行を妨げることがないようにすること。

- 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承認を得ること。

8 建設副産物関係

- 建設副産物の処分は、建設リサイクル法等を遵守し、再生工場に搬入すること。

- この工事が資源の有効な利用の促進に関する法律(平成3年法律第48号)の規定により再生資源使用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事施工前に発注者に再生資源利用促進計画書を提出し、その内容を説明しなければならず、工事完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。

9 海老名環境マネジメントシステム関係

- 本工事は、当市のEMS公共工事環境配慮マニュアル適用工事であり、
下表の事項に留意し施工すること。

適用工事件名	伊勢山自然公園法面对策工事
作 業	配 慮 事 項
掘 削	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。
排出土処理	排出土中に他の廃棄物が混入しないように分別する。
埋戻し(盛土)	現場内排出土及び再生砕石を使用する。
コンクリート	取り壊したものは必ず再生プラントへ搬入する。(マニフェスト管理)
取壊し	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。
アスファルト	取り壊したものは必ず再生プラントへ搬入する。(マニフェスト管理)
取壊し	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。
構造物	基礎材は、再生砕石を使用する。
路盤工	路盤材は再生材(RC-10・RC-40)を使用する。
舗装工	歩道は、透水性舗装に努め、舗装材にはリサイクル材を採用する。
(車道及び歩道)	
工事作業機械 車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。
	排ガス規制に適合した作業機械・車両(ディーゼルエンジン)を使用する。
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。

10 その他

- 工事に際し、現場代理人及び主任技術者は設計図書を熟知し、現場代理人においては、作業中現場に常駐すること。
- 又、主任技術者は、施工計画書を作成し、事前に監督員の承諾を得ること。
- 尚、本工事の内容に応じた安全訓練等の具体的な計画も作成し明記すること。
- 事前調査は十分に行い、不明確な部分については打合せ簿により施工前に監督員と協議し、確認を得ること。
- 尚、工事打合せ簿においては、指定の書式を使用すること。
- 工事に際し、事前に関係者へ十分な周知を図るとともに、民地内に立ち入る場合、やむを得ず民地内に工事材料等を存置する場合は、必ず所有者の了解を得てから実施すること。
- 測量点及び境界点は、工事着手前に点検し、保存の必要があれば確保し、関係者より復元等を求められた場合は、早急に復元すること。
- 又、工事完了後、道路台帳、用地実測図等に基づき現地に境界点を明示し、監督員と立会いを行うこと。

- 掘削位置直近の構造物(ブロック塀等)は施工前に状態を確認し、必要であれば地権者(所有者等)に立会いを求め、記録し監督員に報告すること。
- 騒音、振動及び粉塵等工事沿線住民に対し不利益になりうることは、工事期間・時間及び施工方法等を十分配慮し、施工に当たること。
- 現場から発生する不要物等が、田畑や宅地等民地部に飛散、流出等しないよう、必要な処置を講じること。
- 請負業者(下請業者含)は、関連法令の遵守の上、公共事業という認識を常に持ち責務を果たすこと。
- 道路占用物件(ライフライン)の移設及び撤去等の調整を関係機関と行い、監督員に報告し、工事を円滑に履行すること。
- 設計図書及び本仕様書に記載されていない事項については、監督職員と協議の上履行すること。
- 本仕様書の他に、『海老名市公共工事共通事項書』も併せて熟読し、本件の施工にあたること。
- 提出書類については海老名市ホームページ内『工事提出書類様式集』を十分把握し、適正に作成すること。
- 工事に際し、防塵対策をしっかりと行うこと。
- 工事中は公園利用者等に対し、細心の注意を図りながら施工を行うこと。

特記仕様書（受注者希望型）

**週休2日制確保工事に関する特記仕様書（土木工事）
（受注者希望型）**

1. 週休2日制確保工事について

- ・本工事は、「海老名市週休2日制度確保工事試行要領（土木工事）」に基づき実施するものとする。
- ・本工事は「受注者希望型」で実施する。
- ・要領や提出書類等は市ホームページから入手すること。

2. アンケートについて

- ・受注者は、同意・不同意に関わらず、アンケートに協力するものとし、工事完了後、工事完成届とあわせて市に提出すること。

施工条件明示書（土木工事共通）

1、工事概要

発注者	海老名市		
工事件名	伊勢山自然公園法面对策工事		
工事場所	海老名市 国分南二丁目 地内		
工事目的	本工事は、伊勢山自然公園の一部が土砂災害特別警戒区域等になっていることから、その解除のための対策工事を行うものです。また、隣接した土地に新設される公園に接続する階段を設けるものです。		
工事概要	(1) 法面对策工 1式 (2) 付帯施設工 1式 (3) 仮設工 1式		
契約工期	令和7年10月6日 から 令和8年2月27日 まで		
事業区分	☐ 補助金事業 ☒ 市単独事業	☐ 国庫 ☐ 県費	
設計区分	☒ 単独積算 ☐ 合算積算	工事 工事	

2、積算諸条件

主たる工種 : 公園工事
 施工地域・工事場所区分 : 市街地(DID補正)
 契約保証の方法 : 保証なし

施工パッケージの使用（一部使用含む） ☒ 有 ☐ 無

【使用歩掛及び単価等】

☒ 土木工事標準積算基準書	適用年版：令和	6年	7月
☒ 諸経费率	適用年版：令和	6年	7月
☐ 下水道用設計標準歩掛表	適用年版：令和	年版	
☒ 土木工事資材等単価表	適用年版：令和	7年	6月
☒ 刊行物	適用年版：令和	7年	4月
☐ 特別調査	適用年版：令和	年	月
☐ 海老名市見積単価等	適用年版：令和	年	月
☒ その他見積もり	適用年版：令和	7年	7月

3、施工条件

【1】 工程関係	1	他工事による当工事の着手、完了時期の制約について	☐ 無 (他工事件名等) 隣接開発行為 ☒ 有 (工期、内容等) 令和7年12月から令和8年1月頃に造成工事が完了予定
	2	当工事における施工時期の制約について	☐ 無 (制約を受ける施工内容等) 階段工 ☒ 有 (施工時期等) 隣接開発行為の進捗による
	3	施工時間について	☒ 昼間施工 (その他特記事項) ☐ 夜間施工 (一部含む)
	4	官公庁ほか関係機関との調整、協議について	☐ 無 (関係機関名) 神奈川県厚木土木事務所東部センター ※令和7年7月25日に土砂災害特別警戒区域等の指定解除に関する要望書提出済み。 令和7年8月13日受理通知収受。 ※施工前や施工中に現地立ち合いを行う予定。
	5	工事着手前に地上物件(家屋調査)、地下埋設物、埋蔵文化財の事前事後調査、又は、移設等の制約について	☒ 無 (対象内容) ☐ 有
	※ただし、施工上必要となる地下埋設物調査については、施工計画書に明示し、必要な措置を講じること。また、書面により報告すること。		
	6	設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数について	☐ 無 (詳細内容、作業不能日数等) ☒ 有 年未年始(6日)
【2】 用地関係	1	工事用地等の未処理部分について(用地買収状況について)	☒ 無 (用地未取得部分等) ☐ 有 (取得予定年月日等)
	2	工事用仮設道路、資材置場等の用地の借用について	☒ 無 (使用場所、期間、借用条件、復旧方法等) 使用場所： 期間： ☐ 有 借用条件： 復旧方法：
	3	使用後の復旧条件	☒ 無 (復旧内容等) ☐ 有
【3】 公害関係	1	公害防止のため、施工方法、建設機械、作業時間等の制限について	☐ 無 (建設機械と制限内容) 騒音規制法・振動規制法 ☒ 有 (作業時間と制限内容) 騒音規制法・振動規制法
	2	水替期等の処理で特別な対策等の必要性について	☒ 無 (対策内容) ☐ 有

【4】 安全対策 関係	1	安全施設等の指定について（有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として換気設備の設置等の含む）	☒ 無 （指定内容） ☐ 有
	2	鉄道、ガス、電気等の施設と近接する工事の施工方法、作業時間の制限	☒ 無 （対象内容） ☐ 有 ☐ 鉄道 ☐ ガス ☐ 電気 ☐ 電話（埋設） ☐ 上水道 ☐ 下水道 ☐ その他（ ）
	3	交通誘導員の配置について	☐ 無 （1）交通誘導員の配置 2人配置（交代要員なし） ☒ 有 （2）配置期間 施工期間中（階段工、防草シート工等）
【5】 工事用道 路関係	1	一般道路を搬入路として使用する場合の制約について	☒ 無 （搬入経路・使用期間等の制限） ☐ 有 （搬入中・後の処置）
	2	仮設道路を設置する場合の制約について	☒ 無 （仮設道路に関する安全施設） ☐ 有 （工事後の措置、維持補修内容）
【6】 建設副産 物関係	1	建設発生土が発生する場合について	☐ 無 （建設発生土の処分先） ☒ 有 名称：愛川町田代受入地 住所：神奈川県愛甲郡愛川町1948番 業者：株式会社 織戸組 愛川工場 電話：046-281-1012
	2	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合について	☐ 無 （対象内容） ☒ 有 ☒ コンクリート塊 ☐ アスファルト塊 ☐ 建設発生木材 ☐ 建設発生木材（伐木・除根材） ☐ 建設汚泥 ☐ 建設混合廃棄物 ☐ 金属くず ☐ その他（ ） ※建設廃材指定登録工場に限る。工場側の指示を遵守すること。
【7】 工事支障 物件	1	工事支障物件について（地下埋設物含む）	☐ 無 （対象内容） ☐ 電柱 ☐ 上水道 ☐ 下水道 ☐ 電話 ☐ ガス管 ☒ 有 ☒ 架空電線 ☐ 標識・看板 ☐ その他（ ）
【8】 薬液注入 関係	1	薬液注入について	☒ 無 （対象内容） 工法区分： 使用材料： ☐ 有 施工範囲、削孔数：発進到達 本 注入量：kℓ 施工管理基準等：

【9】 その他	1	工事現場発生品がある場合について	☒ 無 (品名、数量等) ☐ 有
	2	支給材料及び貸与品がある場合について	☒ 無 (品名、数量等) ☐ 有
	3	特殊・特定使用材料を使用する場合及び資材搬入等に制限がある場合	☒ 無 (品名、数量、搬入制限等) ☐ 有
	4	有価物（スクラップ等）処分費を計上している場合について	☒ 無 (品名等) ☐ 有
	5	隣接開発行為による新規公園との階段の接続時期について	隣接開発事業者と調整し、新規公園に接続する階段の施工時期を確認すること。
	6	法面对策工について	樹木の伐採を必要としない工法とする。神奈川県が当該法面の土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域が解除可能と認める工法とする。 工事着手前に別発注による当該法面の樹木の剪定等を予定している。
	7	土砂災害特別警戒区域等の解除について	解除に必要な施工範囲等の詳細を神奈川県と現場で調整するため、施工前や施工中必要な時期に丁張等設置し県の確認を受けること。また、県の確認により施工範囲等変更となった場合は適切に対応すること。
	8	伊勢山自然公園の使用について	施工期間中、伊勢山自然公園に資材や重機等存置する場合は発注者と協議すること。また、カラーコーン等で囲い公園利用者等に対する安全対策を行うこと。

※明示されない施工条件、明示事項が不明確な場合は、契約書等の関連する条項に基づき甲・乙協議により決定すること。

単価抜き

令和7年度

伊勢山自然公園法対策工事設計書

番 号	R6-7歩掛 R7-6単価	施 工 年 度	令和 7 年度
名 称	伊勢山自然公園法面对策工事		
場 所	海老名市国分南二丁目地内		
施 工 主	海老名市	概要 工事延長L =120m 1 法面对策工…1式（補強ネット敷設工，ひし形金網設置工） 2 付帯施設工…1式（階段工，転落防止柵工，手すり設置工，コンクリートシール工，防草シート工，視覚障がい者誘導用標示設置工） 3 仮設工 …1式（交通誘導警備員）	
設 計 区 分	公園工事		
公 園 名	伊勢山自然公園		
期 間	令和 7年 10月 6日 ～ 令和 8年 2月 27日		
日 数	145 日		
部 課 名	まちづくり部都市施設公園課		
積 算 担 当	施設整備係		
合 計 額			
価 格			
消費 税 相 当 額			

内 訳 書

工 事 区 分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
費	公園工事							
		法面对策工		式	1			A- 1号内訳書
		付帯施設工		式	1			A- 2号内訳書
		仮設工		式	1			A- 3号内訳書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		技術管理費		式	1			A- 4号内訳書
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								
		一般管理費	(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする
工事価格								

[illegible]

合計額

工事区分

I

種

種

別

細

別

单位

数 量

單 價

金

額

摘

要

間 接 費 明 細 書

設 計 条 件					
工 種	公園工事	工事日数(内冬日数)	145日/119日	共通仮設費対象外額	
場所区分	市街地(DID補正)	支給品費		現場管理費対象外額	
前払い率	35%超え	処分費		一般管理費対象外額	
契約保証区分	発注者が金銭的保証を必要とする	処分除外費		支給共仮費対象外額	
積雪寒冷地域	なし				

算 出 基 礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数3位四捨五入2位止めとする。

$$\begin{aligned} \text{共 通 仮 設 費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{支給品費} + \text{事業損失防止施設費} - \text{共通仮設費対象外額} - \text{支給共仮費対象外額} + \text{準備費処分費} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad - \quad - \quad + \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

$$\begin{aligned} \text{現 場 管 理 費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{共通仮設費} + \text{支給品費} + \text{支給品費(現)} - \text{現場管理費対象外額} - \text{支給現場費対象外額} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad + \quad - \quad - \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

間 接 費 明 細 書

算

出

基

礎

$$\begin{aligned} \text{一 般 管 理 費} &= \text{対象額} \times \text{率} + \text{対象額} \times \text{契約保証補正值} - \text{調整額} \\ &= \quad \times \quad \% + \quad \times \quad \% - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{工事原価} - \text{一般管理費対象外額} - \text{処分除外費} + \text{一般管理補正額} \\ &= \quad - \quad - \quad + \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{前払補正} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \quad \rightarrow \quad \therefore \quad \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

[illegible]

A- 2号		付帯施設工					1式当たり	内訳書
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工(人力施工) 昼間		無筋構造物 制約無		m3	0.1			C- 6号単価表
土砂等運搬		土砂等発生現場:現場制約あり 積込機種・規格:人力 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)		m3	0.1			施工P-01
		DID区間の有無:有り 運搬距離:6.0km以下						
廃材処理料(北部地区)		無筋C o 殻		m3	0.1			
掘削		土質:土砂 施工方法:上記以外(小規模) 施工数量:標準以外		m3	69			施工P-02
埋戻し		施工方法:現場制約あり 土質:土砂 締固めの有無:有り		m3	14			施工P-03
土砂等運搬		土砂等発生現場:小規模 積込機種・規格:バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)		m3	54			施工P-04
		DID区間の有無:有り 運搬距離:24.0km以下						
発生土処分料		指定A(愛川町田代受入地)		m3	54			
コンクリート		構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:人力打設 コンクリート規格:18-8-25(20)(高炉)		m3	18			施工P-05
		養生工の種類:一般養生 現場内小運搬の有無:有り						
型枠		型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:鉄筋・無筋構造物		m ²	73			施工P-06
コンクリート		構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:人力打設 コンクリート規格:18-8-25(20)(高炉)		m3	2.9			施工P-07

A- 2号		付帯施設工					1式当たり	内訳書
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		養生工の種類:一般養生 現場内小運搬の有無:有り						
型枠		型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:均しコンクリート		m ²	3.3			施工P-08
基礎碎石		碎石の厚さ:7.5cmを超え12.5cm以下		m ²	59			施工P-09
横断・転落防止柵設置工 (C o 建込用)		ビーム式・パネル式 支柱間隔2m		m	32.9			C- 7号単価表
横断・転落防止柵設置工 (C o 建込用)		ビーム式・パネル式 支柱間隔2m		m	32.9			C- 8号単価表
コンクリートシール				m	23			C- 9号単価表
シート敷設				m ²	210			C- 10号単価表
点字シート		視覚障害者用 材工共		枚	8			
計								

A- 2号内訳書(施工P-01)		積算単位:m3	標準単価:
土砂等運搬			
土砂等発現場:現場制約あり、積込機種・規格:人力、土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)、DID区間の有無:有り、運搬距離:6.0km以下			

	名	称	／	規	格	単 位	構 成 比	単価（東京）	単 価	摘 要
機械K							18.57			
	K 1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ﾀﾞｲﾍﾞｰｼﾞﾝｸﾞ ﾀﾞｲﾍﾞｰｼﾞﾝｸﾞ				供/日	18.57			
	K 2									
	K 3									
	K 4									
	K 5									
労務R							72.35			
	R 1	運転手(一般)				人	72.35			
	R 2									
	R 3									
	R 4									
	R 5									
材料Z							9.08			
	Z 1	軽 油／ﾊﾞﾄﾚｰﾙ給油				L	9.08			
	Z 2									
	Z 3									
	Z 4									
	Z 5									
市場S										

P' =

×

{

18.57

100

×

)

×

18.57

+

(

72.35

100

×

)

×

72.35

+

(

9.08

100

×

)

×

9.08

+

100-18.57-72.35-9.08

}

=

A- 2号内訳書(施工P-02)		積算単位:m3	標準単価:
掘削			
土質:土砂、施工方法:上記以外(小規模)、施工数量:標準以外			

名 称		規 格	単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K				20.80			
	K 1	小型バックホウ(クローラ型) 標準型 排対型(2次基準)	供/日	20.80			
	K 2						
	K 3						
	K 4						
	K 5						
労務R				71.28			
	R 1	運転手(特殊)	人	71.28			
	R 2						
	R 3						
	R 4						
	R 5						
材料Z				7.92			
	Z 1	軽 油/ハートル給油	L	7.92			
	Z 2						
	Z 3						
	Z 4						
	Z 5						
市場S							

P' =

$$\begin{aligned} &\times \left\{ \left(\frac{20.80}{100} \times \frac{20.80}{20.80} \right) \times \frac{20.80}{20.80} \right. \\ &+ \left(\frac{71.28}{100} \times \frac{71.28}{71.28} \right) \times \frac{71.28}{71.28} \\ &+ \left(\frac{7.92}{100} \times \frac{7.92}{7.92} \right) \times \frac{7.92}{7.92} \\ &\quad \left. + \frac{100-20.80-71.28-7.92}{100} \right\} = \end{aligned}$$

A- 2号内訳書(施工P-03)		積算単位:m3	標準単価:
埋戻し			
施工方法:現場制約あり、土質:土砂、締固めの有無:有り			

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K			0.26			
	K 1 タンパ 及びバランマ賃料／質量 60～80kg	日	0.26			
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務R			99.38			
	R 1 普通作業員	人	88.41			
	R 2 特殊作業員	人	10.97			
	R 3					
	R 4					
	R 5					
材料Z			0.36			
	Z 1 ガソリン／レギュラー,スタントﾞ渡し	L	0.36			
	Z 2					
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場S						

P' =

×

{

(

0.26

100

×

)

×

0.26

0.26

+

(

88.41

100

×

+

10.97

100

×

)

×

99.38

88.41+10.97

+

(

0.36

100

×

)

×

0.36

0.36

+

100-0.26-99.38-0.36

100

}

=

A- 2号内訳書(施工P-04)		積算単位:m3	標準単価:
土砂等運搬			
土砂等発生現場:小規模、積込機種・規格:バックホ山積0.13m3(平積0.1m3)			
土質:土砂(岩塊・玉石混りを含む)、DID区間の有無:有り、運搬距離:24.0km以下			

	名	称	／	規	格	単	位	構	成	比	単価(東京)	単	価	摘	要
機械K										18.57					
	K 1	タンポトラック オンロード・ディーゼル					供/日			18.57					
	K 2														
	K 3														
	K 4														
	K 5														
労務R										72.35					
	R 1	運転手(一般)					人			72.35					
	R 2														
	R 3														
	R 4														
	R 5														
材料Z										9.08					
	Z 1	軽 油／パトロール給油					L			9.08					
	Z 2														
	Z 3														
	Z 4														
	Z 5														
市場S															

P' =

×

{

(

18.57

100

×

)

×

18.57

18.57

+

(

72.35

100

×

)

×

72.35

72.35

+

(

9.08

100

×

)

×

9.08

9.08

+

100-18.57-72.35-9.08

100

}

=

A- 2号内訳書(施工P-05)			積算単位:m3		標準単価:	
コンクリート					階段部コンクリート	
構造物種別:無筋・鉄筋構造物、打設工法:人力打設、コンクリート規格:18-8-25(20)(高炉)、養生工の種類:一般養生、現場内小運搬の有無:有り						
	名	称	／	規	格	
機械K						
	K 1					
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務R					36.88	
	R 1	普通作業員		人	21.70	
	R 2	特殊作業員		人	6.72	
	R 3	土木一般世話役		人	5.98	
	R 4					
	R 5					
材料Z					63.12	
	Z 1	生コンクリート(高炉セメント)／18-8-25(20), W/C指定無し(小型4 t車)		m3	63.12	
	Z 2					
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場S						
P' =						
× {						
+ (21.70100×----- + 6.72100×----- + 5.98100×-----) × -----36.8821.70+6.72+5.98-----						
+ (63.12100×-----) × -----63.1263.12-----						
+ -----100-36.88-63.12100-----} =						

A- 2号内訳書(施工P-06)		積算単位: m ²		標準単価:		階段部型枠	
型枠		型枠の種類: 一般型枠、構造物の種類: 鉄筋・無筋構造物					
	名 称 / 規 格	単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要	
機械K							
	K 1						
	K 2						
	K 3						
	K 4						
	K 5						
労務R			100.00				
	R 1 型わく工	人	46.19				
	R 2 普通作業員	人	25.55				
	R 3 土木一般世話役	人	9.57				
	R 4						
	R 5						
材料Z							
	Z 1						
	Z 2						
	Z 3						
	Z 4						
	Z 5						
市場S							
$ \begin{aligned} P' = & \\ & \times \left\{ \right. \\ & + \left(\frac{46.19}{100} \times \frac{100-100}{100} + \frac{25.55}{100} \times \frac{100-100}{100} + \frac{9.57}{100} \times \frac{100-100}{100} \right) \times \frac{100}{46.19+25.55+9.57} \\ & + \\ & \left. + \frac{100-100}{100} \right\} = \end{aligned} $							

A- 2号内訳書(施工P-07)		積算単位:m3		標準単価:		
コンクリート				階段部均しコンクリート		
構造物種別:無筋・鉄筋構造物、打設工法:人力打設、コンクリート規格:18-8-25(20)(高炉)、養生工の種類:一般養生、現場内小運搬の有無:有り						
名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K						
K 1						
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			36.88			
R 1	普通作業員	人	21.70			
R 2	特殊作業員	人	6.72			
R 3	土木一般世話役	人	5.98			
R 4						
R 5						
材料Z			63.12			
Z 1	生コンクリート(高炉セメント)／18-8-25(20), W/C指定無し(小型4 t 車)	m3	63.12			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						
P' =						
$\begin{aligned} & \times \left\{ \right. \\ & + \left(\frac{21.70}{100} \times \frac{100-36.88-63.12}{100} + \frac{6.72}{100} \times \frac{100-36.88-63.12}{100} + \frac{5.98}{100} \times \frac{100-36.88-63.12}{100} \right) \times \frac{36.88}{21.70+6.72+5.98} \\ & + \left(\frac{63.12}{100} \times \frac{100-36.88-63.12}{100} \right) \times \frac{63.12}{63.12} \\ & \left. + \frac{100-36.88-63.12}{100} \right\} = \end{aligned}$						

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K						
K 1						
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			100.00			
R 1	型わく工	人	58.35			
R 2	普通作業員	人	20.27			
R 3	土木一般世話役	人	6.13			
R 4						
R 5						
材料 Z						
Z 1						
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

×

{

+

58.35

100

×

+

20.27

100

×

+

6.13

100

×

)

×

100

58.35+20.27+6.13

+

100-100

100

}

=

A-	2号内訳書(施工P-09)	積算単位:m ²	標準単価:
	基礎碎石		
	碎石の厚さ:7.5cmを超え12.5cm以下		

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			5.58			
K 1	バックホ (クロー、標準) 賃料 / 山積0.8m3 (平積0.6m3) (排出ガス対策型含む)	日	5.55			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			77.45			
R 1	普通作業員	人	37.13			
R 2	特殊作業員	人	15.71			
R 3	運転手 (特殊)	人	14.81			
R 4	土木一般世話役	人	9.27			
R 5						
材料 Z			16.97			
Z 1	再生クラッシャーラン / RC-40	m3	11.93			
Z 2	軽 油 / パトロール給油	L	5.01			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

×

{

(

5.55

100

×

)

×

5.58

5.55

+

(

37.13

100

×

+

15.71

100

×

+

14.81

100

×

+

9.27

100

×

)

×

77.45

37.13+15.71+14.81+9.27

+

(

11.93

100

×

+

5.01

100

×

)

×

16.97

11.93+5.01

+

100-5.58-77.45-16.97

100

}

=

A- 3号		仮設工					1式当たり	内訳書					
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
交通誘導警備員 B				現場		1						C- 11号単価表	
計													

A- 4号		技術管理費					1式当たり	内訳書					
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
確認試験工		ロープ足場		本		11						C- 12号単価表	
計													

[illegible]

C-4号	補強ネット工材料費					1式当たり	単価表
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
補強ネット	φ 6.0合金メッキ520×520	枚	2,280				
UN支圧板	メッキφ 300	組	348				
UN鋼より線	φ 6.0合金メッキ	m	252				
補正部材用UN鋼より線	φ 6.0合金メッキ	m	264				
CSナット	メッキ	個	348				
UNグリップ	合金メッキφ 2.15×5×610	本	24				
UNコイル	合金メッキφ 2.6×570	個	240				
補正部材用UNコイル	合金メッキφ 2.6×570	個	120				
スパーサー	焼付塗装	個	696				
ネジ節異形棒鋼	SD345メッキ	kg	1,566				
計							

[illegible]

C- 6号

1m3当たり

单価表

構造物とりこわし工(人力施工) 昼間

無筋構造物 制約無

[illegible]

C- 7号

1m 当たり

单価表

横断・転落防止柵設置工（C o 建込用）

ビーム式・パネル式 支柱間隔2m

[illegible]

C- 8号

1m当たり

单価表

横断・転落防止柵設置工（C o 建込用）

ビーム式・パネル式 支柱間隔2m

[illegible]

[illegible]

C-	9号単価表(施工P-01)	積算単位:m3	標準単価:
	コンクリート		
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物、打設工法:人力打設、コンクリート規格:24-12-25(20)(高炉)、養生工の種類:一般養生、現場内小運搬の有無:有り		

	名	称	／	規	格	単	位	構	成	比	単	価	(東京)	単	価	摘	要
機械K																	
	K 1																
	K 2																
	K 3																
	K 4																
	K 5																
労務R									36.88								
	R 1	普通作業員				人		21.70									
	R 2	特殊作業員				人		6.72									
	R 3	土木一般世話役				人		5.98									
	R 4																
	R 5																
材料Z									63.12								
	Z 1	生コンクリート(高炉セメント)／18-8-25(20), W/C指定無し(小型 4 t 車)				m3		63.12									
	Z 2																
	Z 3																
	Z 4																
	Z 5																
市場S																	

P' =

×

{

+

21.70

100

×

+

6.72

100

×

+

5.98

100

×

)

×

36.88

21.70+6.72+5.98

+

63.12

100

×

)

×

63.12

63.12

+

100-36.88-63.12

100

}

=

[illegible]

C- 11号

1現場当たり

单価表

交通誘導警備員 B

[illegible]

C- 12号

10本当たり

单価表

確認試験工

ロープ足場

[illegible]

伊勢山自然公園法面对策工事				材料費(30)		材料調書全体明細表							
(単位:円)													
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	備	考
CSナット		メッキ		個		348							
UNグリップ		合金メッキ	φ2.15×5×610	本		24							
UNコイル		合金メッキ	φ2.6×570	個		240							
UN支圧板		メッキ	φ300	組		348							
UN鋼より線		φ6.0合金メッキ		m		252							
ひし形金網		合金メッキ,	φ2.6×50×50	m ²		414							
グラウト注入材				m3		1.983							
スペーサー		焼付塗装		個		696							
ネジ節異形棒鋼		SD345メッキ		kg		1,566							
手すり		1段		m		32.9							
補強ネット		φ6.0合金メッキ	520×520	枚		2,280							
補正部材用UNコイル		合金メッキ	φ2.6×570	個		120							
補正部材用UN鋼より線		φ6.0合金メッキ		m		264							

[illegible]

[illegible]

伊勢山自然公園法面对策工事

数量計算書

工事数量総括表

[illegible]

[illegible]

ネット敷設工 数量計算書(1)

【1, 200m2当たり数量】

項 目	数 式					数 量
補強ネット	N=	1. 90	×	1200		2, 280 枚
UN支圧板セット	N=	0. 29	×	1200		348 組
C S ナット	N=	0. 29	×	1200		348 個
UNグリップ	N=	0. 02	×	1200		24 本
UN鋼より線(外周用)	L=	0. 20	×	1200		240. 0 m (252. 0) m ※1
UN鋼より線(補正部材用)	L=	0. 22	×	1200		264. 0 m
UNコイル(外周用)	N=	0. 20	×	1200		240 個
UNコイル(補正部材用)	N=	0. 10	×	1200		120 個
スパーサー	N=	348	×	2		696 個
ネジ節異形棒鋼 (D19 L=2. 0m)	N=	0. 29	×	1200		348 本
	V=	348	×	2. 25	×	2 1, 566 kg

※1 割増率5%を考慮した数量

ネット敷設工 数量計算書(2)

【1,200m2当たり数量】

項 目		数 量
削孔長(φ50mm)	(ネジ節異形棒鋼 L=2m, 頭出し L=0.1m) $L = 348 \times 1.9$	661.2 m
注入材(φ50mm)	$V = (0.025 \times 0.025 \times \pi \times 661.2) \times 1.4$ (割増率) (1m3あたりポルトランドセメント1,230kg)	1.82 m3

ネット敷設工 単位数量

【400m2当たり数量】

項 目	数 式	数 量
補強ネット	$N = 400 \times 2 \times (1 - 0.05) ※1$	760 枚
UN支圧板セット	$N = 11 \times 6 + 10 \times 5$	116 組
C Sナット	$N = 116$	116 個
UNグリッパ	$N = 8$	8 本
UN鋼より線(外周用)	$L = 20.00 \times 2 + 20.00 \times 2$	80.0 m (84.0) m ※2
UN鋼より線(補正部材用)	$L = 400 \times 2 \times 0.05 \times 2.2 ※1$	88.0 m
UNコイル(外周用)	$N = 80 \times 1$	80 個 ※3
UNコイル(補正部材用)	$N = 400 \times 2 \times 0.05 ※1$	40 個
ネジ節異形棒鋼 (D19 L=2.0m)	$N = 116$	116 本

※1 補正部材率を5%として計算

※2 割増率5%を考慮した数量

※3 UN鋼より線1mにつき1個

ネット敷設工 単位数量

【1m2当たり数量】

項 目	数 式	数 量
補強ネット	$N = \frac{760}{400}$	1.90 枚
UN支圧板セット	$N = \frac{116}{400}$	0.29 組
C S ナット	$N = \frac{116}{400}$	0.29 個
UNグリップ	$N = \frac{8}{400}$	0.02 本
UN鋼より線(外周用)	$L = \frac{80.0}{400}$	0.20 m (0.210) m ※1
UN鋼より線(補正部材用)	$L = \frac{88.0}{400}$	0.220 m
UNコイル(外周用)	$N = \frac{80}{400}$	0.200 個
UNコイル(補正部材用)	$N = \frac{40}{400}$	0.100 個
ネジ節異形棒鋼 (D19 L=2.0m)	$N = \frac{116}{400}$	0.290 本

※1 割増率5%を考慮した数量

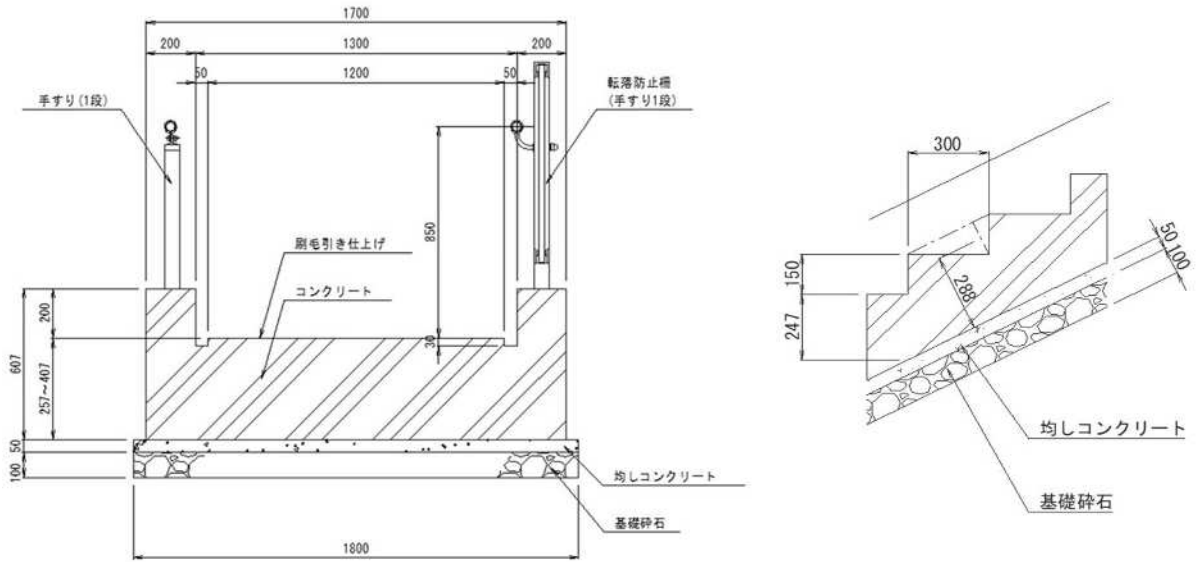
階段部数量計算書

項目・規格	算式	単位	数量
階段部	$4.50 \times 3 + 0.30 + 0.60 + 0.90 + 1.50 + 0.60 = 17.40$		
踊り場	$1.72 + 1.31 + 1.20 + 2.40 \times 3 + 2.00 + 2.08 = 15.51$		
【平均断面】			
1 - 1 2 - 2			
	17.40 (1-1)断面 階段部 15.51 (2-2)断面 踊り場		
作業土工 掘削	$2.82 \times 17.40 + 1.34 \times 15.51 = 69.851$	m3	69.8
埋戻し	$0.39 \times 17.40 + 0.47 \times 15.51 = 14.076$	m3	14.1
発生土運搬	$69.8 - 14.1 / 0.9 = 54.133$	m3	54.1
発生土処分	$69.8 - 14.1 / 0.9 = 54.133$	m3	54.1
コンクリート	(階段部) (踊り場) $6.17 / 10.0 \times 17.40 + 5.02 / 10.0 \times 15.51 = 18.522$	m3	18.52
型枠	$30.715 / 10.0 \times 17.40 + 12.960 / 10.0 \times 15.51 = 73.55$	m2	73.5
均しコンクリート t=5cm	$0.900 / 10.0 \times 17.40 + 0.900 / 10.0 \times 15.51 = 2.962$	m3	2.96
均し型枠	$1.000 / 10.0 \times 17.40 + 1.000 / 10.0 \times 15.51 = 3.29$	m2	3.3
基礎碎石 RC-40 t=10cm	$18.000 / 10.0 \times 17.40 + 18.000 / 10.0 \times 15.51 = 59.24$	m2	59.2
手すり工 1段	$10.000 / 10.0 \times 17.40 + 10.000 / 10.0 \times 15.51 = 32.91$	m	32.9
転落防止柵工 手すり1段付き	$10.000 / 10.0 \times 17.40 + 10.000 / 10.0 \times 15.51 = 32.91$	m	32.9
コンクリートシール	23.0 = 23.00	m	23.0

単位数量計算書

名 称: コンクリート階段(階段部)	業務名称:
--------------------	-------

算式根拠となる構造図



L= 10 m

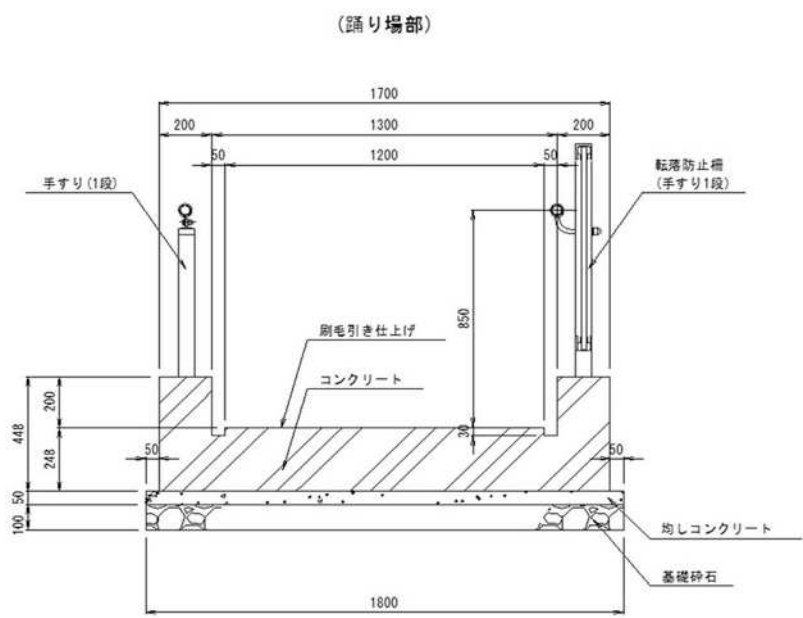
項 目 ・ 規 格	算 式	10 m 当たり	単位	数 量
コンクリート	$(0.2 \times 0.607 \times 2 + 1.3 \times 0.288) \times 10$	6.172	m ³	6.172
型枠	$0.607 \times 4 \times 10 + 1.3 \times 0.15 \times 33$	30.715	m ²	30.715
均しコンクリート t=5cm	$1.8 \times 0.05 \times 10$	0.9	m ³	0.9
均し型枠	$0.05 \times 2 \times 10$	1.0	m ²	1
基礎碎石 RC-40 t=10cm	1.80×10	18	m ²	18
手すり工 1段	10	10	m	10
転落防止柵工 手すり1段付き	10	10	m	10

単位数量計算書

名 称: コンクリート階段(踊り場)	業務名称:
--------------------	-------

算式根拠となる構造図

10 m当たり



L= 10.00 m

項 目 ・ 規 格	算 式	10 m 当たり	単位	数 量
コンクリート	$(0.2 \times 0.448 \times 2 + 1.3 \times 0.248) \times 10$	5.016	m3	5.016
型枠	$0.448 \times 2 \times 10 + 0.2 \times 2 \times 10$	12.96	m2	12.96
均しコンクリート t=5cm	$1.8 \times 0.05 \times 10$	0.9	m3	0.9
均し型枠	$0.05 \times 2 \times 10$	1.0	m2	1
基礎碎石 RC-40 t=10cm	1.8×10	18	m2	18
手すり 1段	10	10	m	10
転落防止柵 手すり1段付き	10	10	m	10

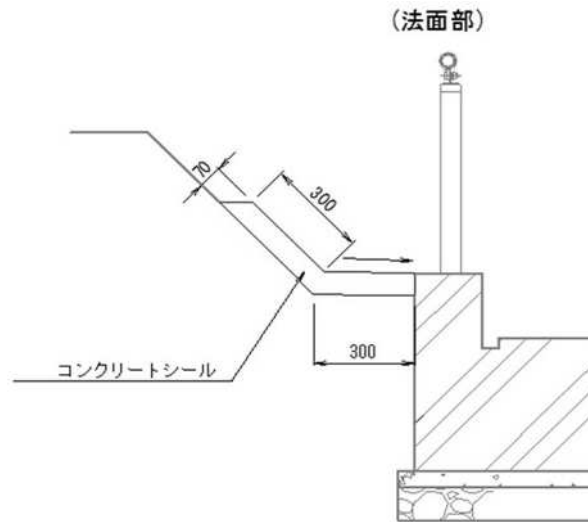
單位數量計算書

名 称: コンクリートシール

業務名称:

算式根拠となる構造図

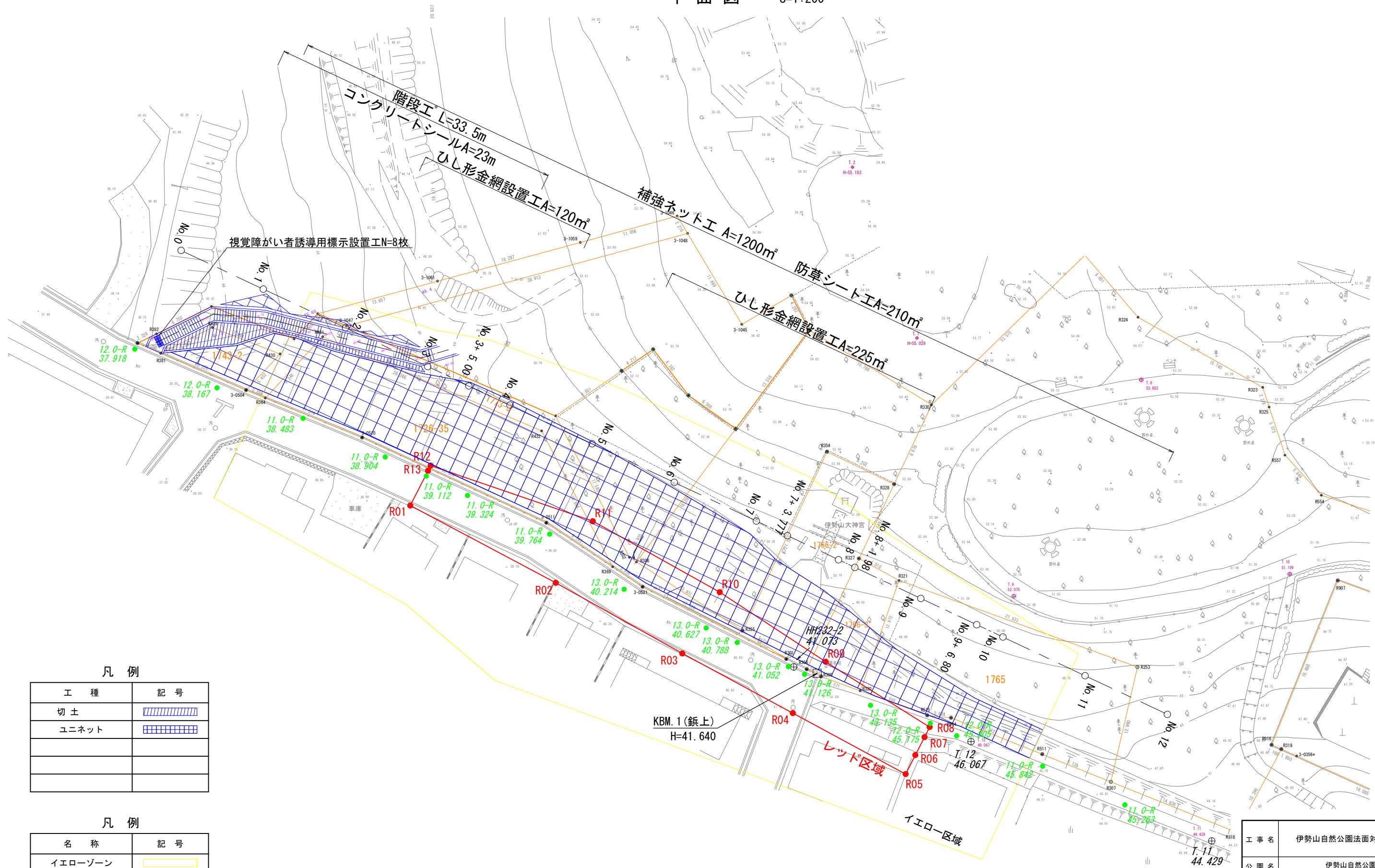
10 m当たり



L= 23.00 m

[illegible]

平面図 S=1:200



凡 例

工 種	記 号
切 土	
ユニネット	

凡 例

名 称	記 号
イエローゾーン	
レッドゾーン	

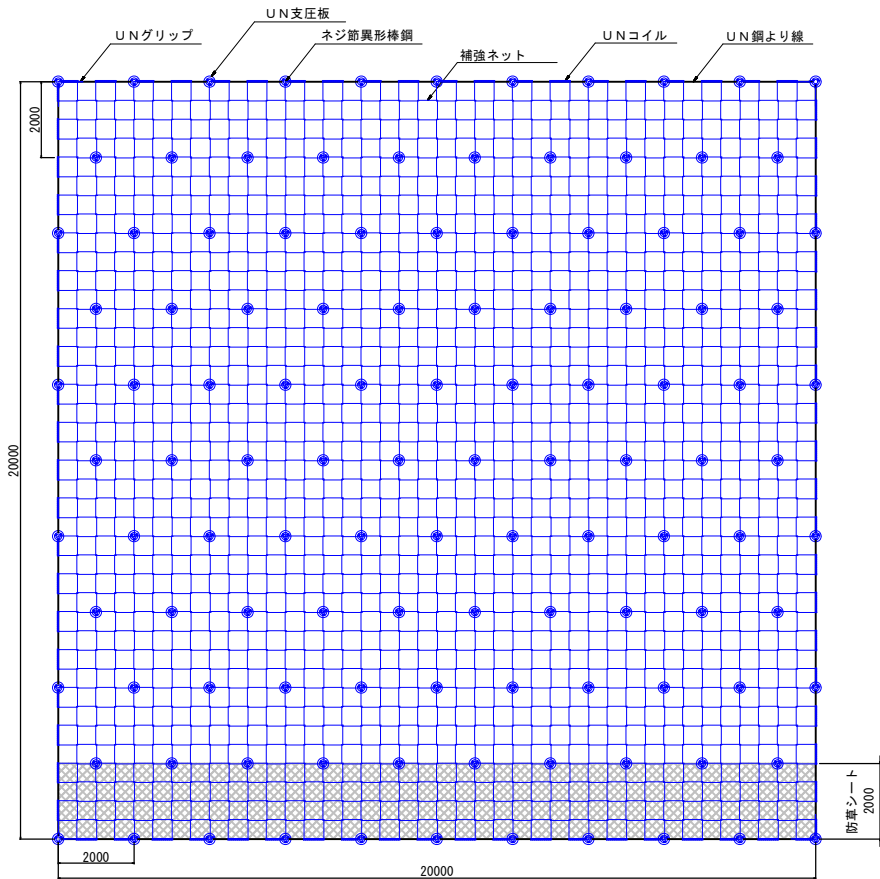
国 分 南 二 丁 目

工 事 名	伊勢山自然公園法面対策工事		
公 園 名	伊勢山自然公園		
工事場所	海老名市 国分南二丁目 地内		
図 面 名	平 面 図	縮 尺	1:200
図面番号	全 8 葉の内第 1 号		
神奈川県海老名市役所			

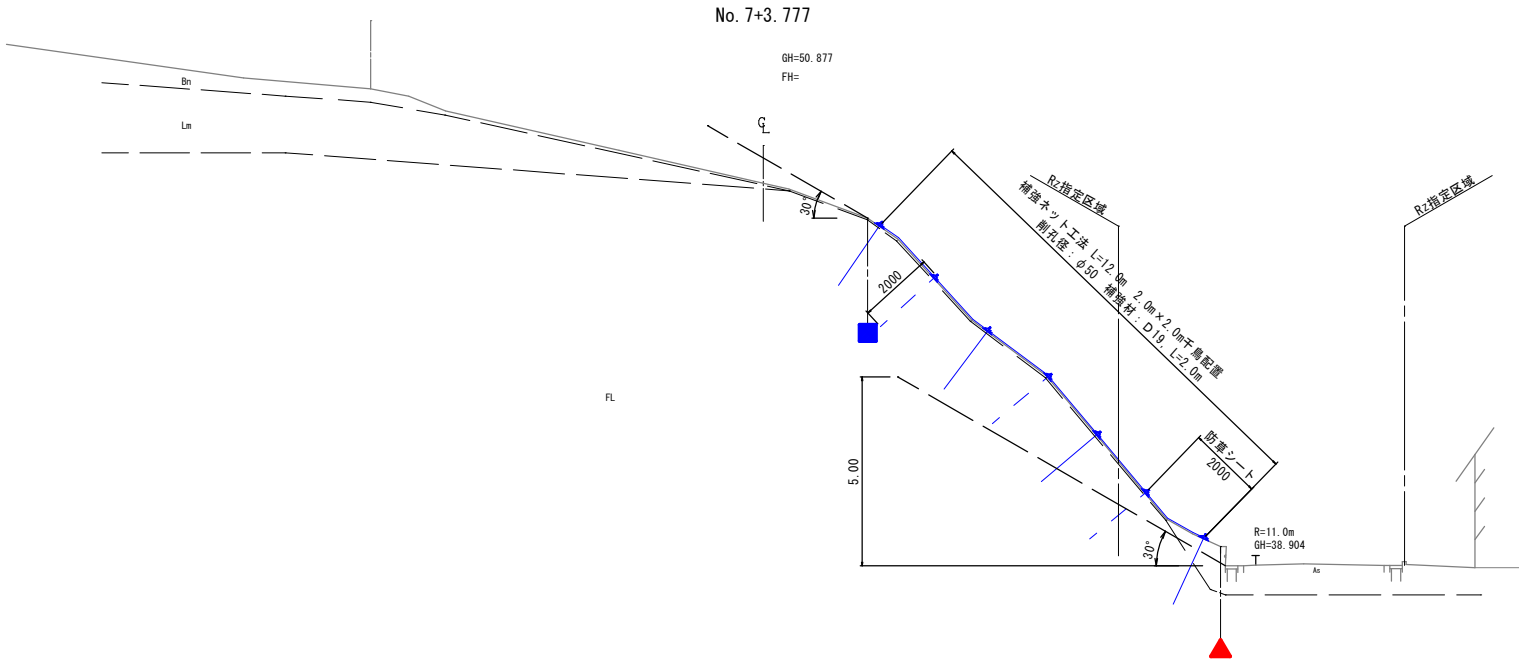
補強ネット工計画図

S=1:100

標準構造展開図



横断面

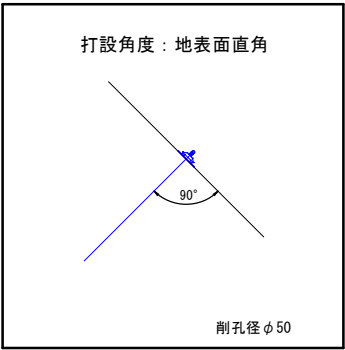


仕様部材一覧表(400m2当たり)

部 材 名 称	材 質	表 面 処 理	寸 法 (mm)	使 用 数 量	単 位	記 号
補強ネット ※1	SWRH62A	亜鉛アルミ合金めっき	φ 6. 0 520×520	400 760	m2 個	
UN 支柱板セット	SS400	亜鉛めっき	φ300×t9 φ 200	116	組	
CS ナット (D19)	FCD450-10	亜鉛めっき	φ 58×152	116	個	
UN グリップ	SWRH62A	亜鉛アルミ合金めっき	φ 2. 15×5×φ10	8	本	
UN 鋼より線 (外用)	SWRH62A	亜鉛アルミ合金めっき	φ 6. 0	80 (84) ※2	m	
UN 鋼より線 (補正部材用)	SWRH62A	亜鉛アルミ合金めっき	φ 6. 0	88	m	
UN コイル (外用)	SWRH62A	亜鉛アルミ合金めっき	φ 2. 6×570	80	個	
UN コイル (補正部材用)	SWRH62A	亜鉛アルミ合金めっき	φ 2. 6×570	40	個	
スプーサー (D19)	N63C	焼付塗装	φ50×115	232	個	
ネジ節異形棒鋼	SD345	亜鉛めっき	D19×2000	116	本	4. 50 (kgf/本)

※1 補強ネットの補正部材率については、5%とする。

※2 UN 鋼より線の割増率5%を考慮した数量



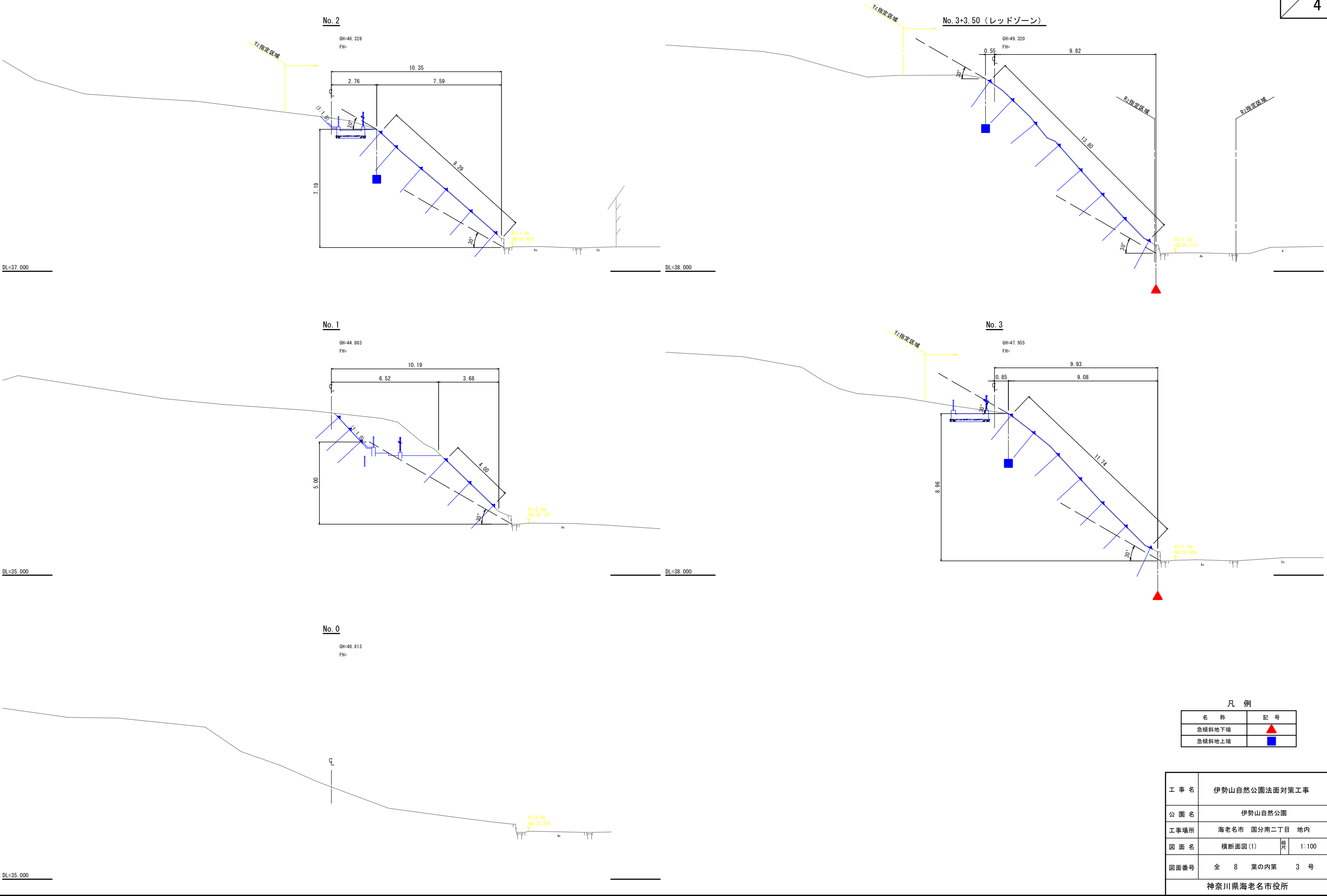
作業工程

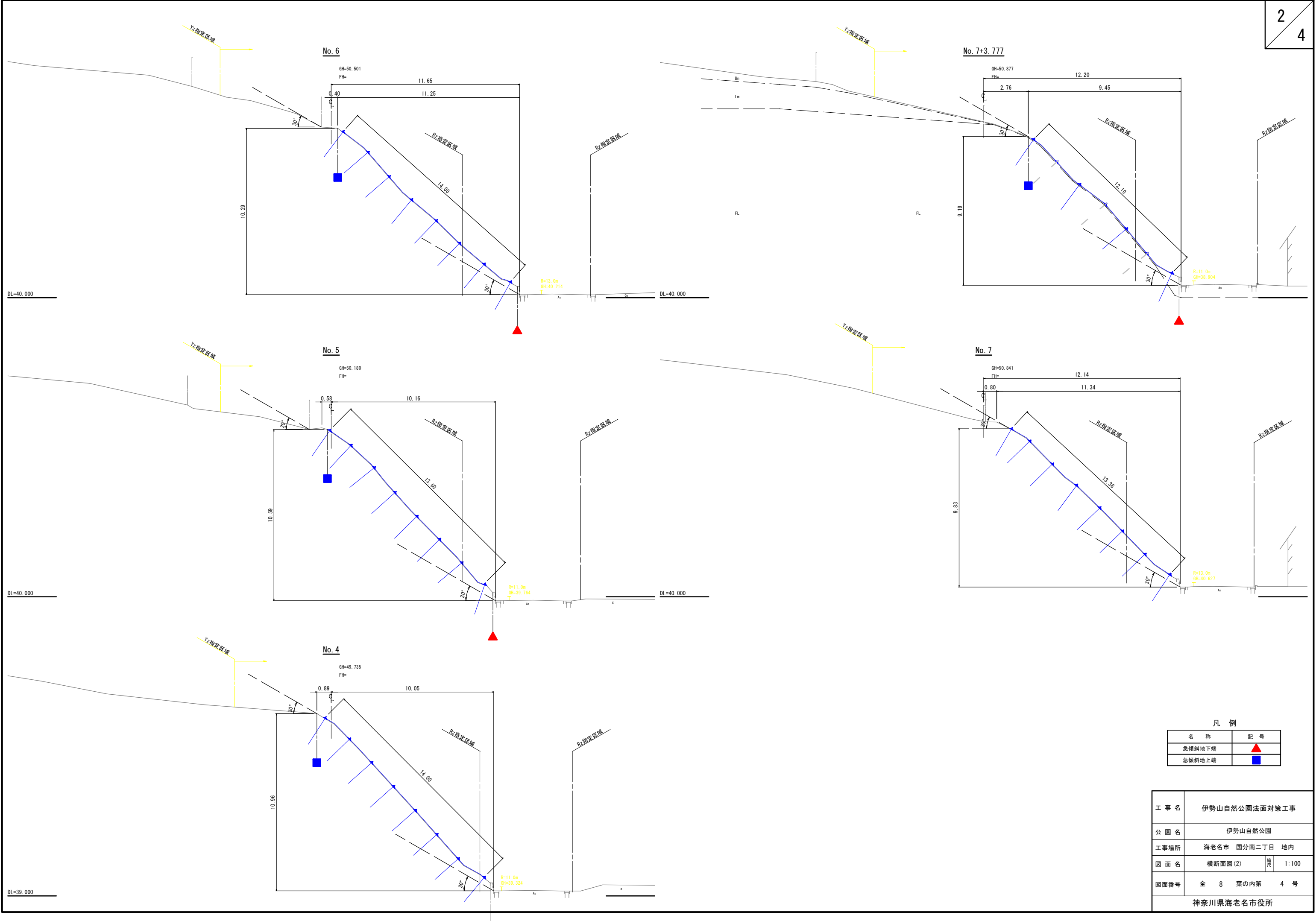


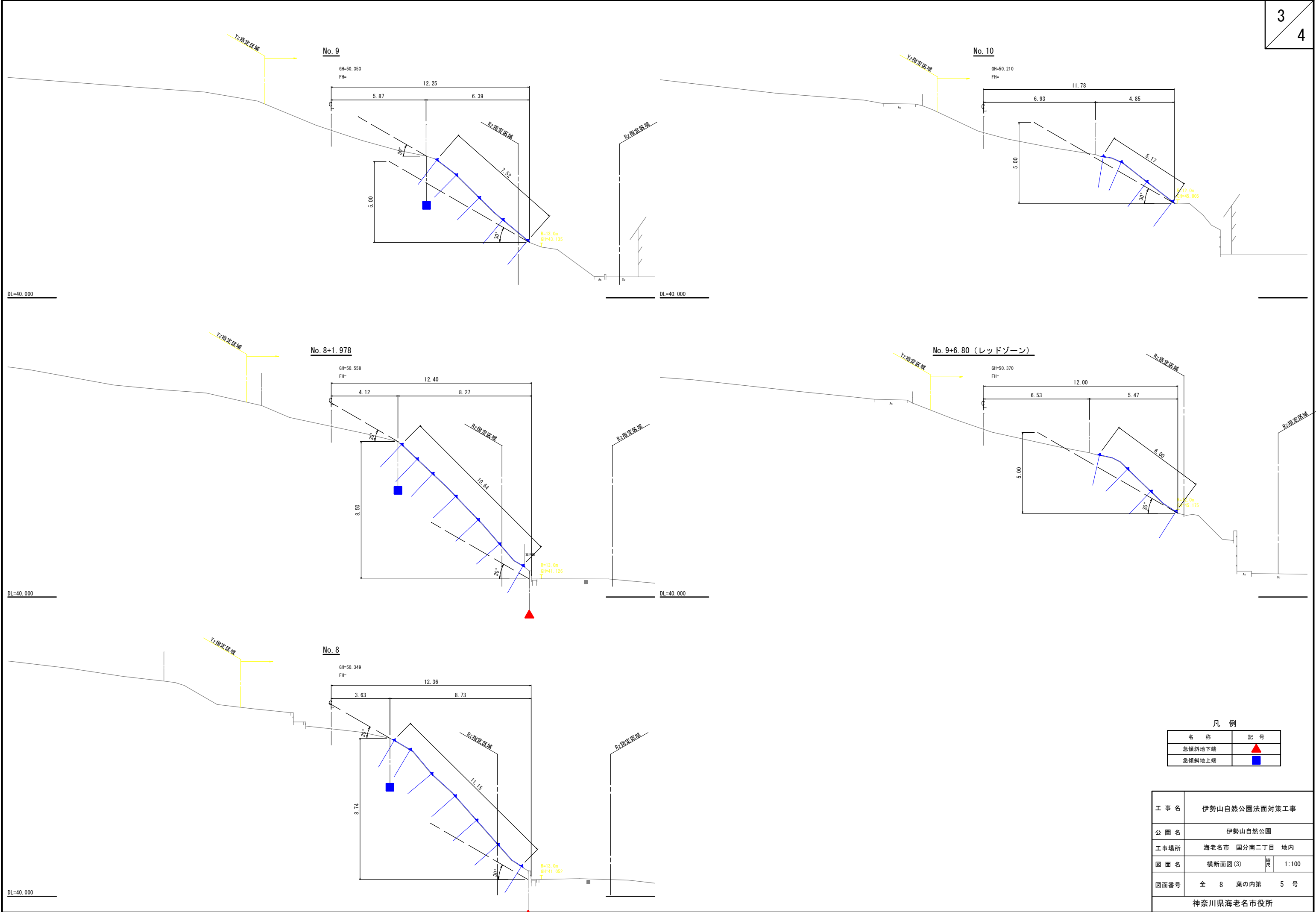
凡 例

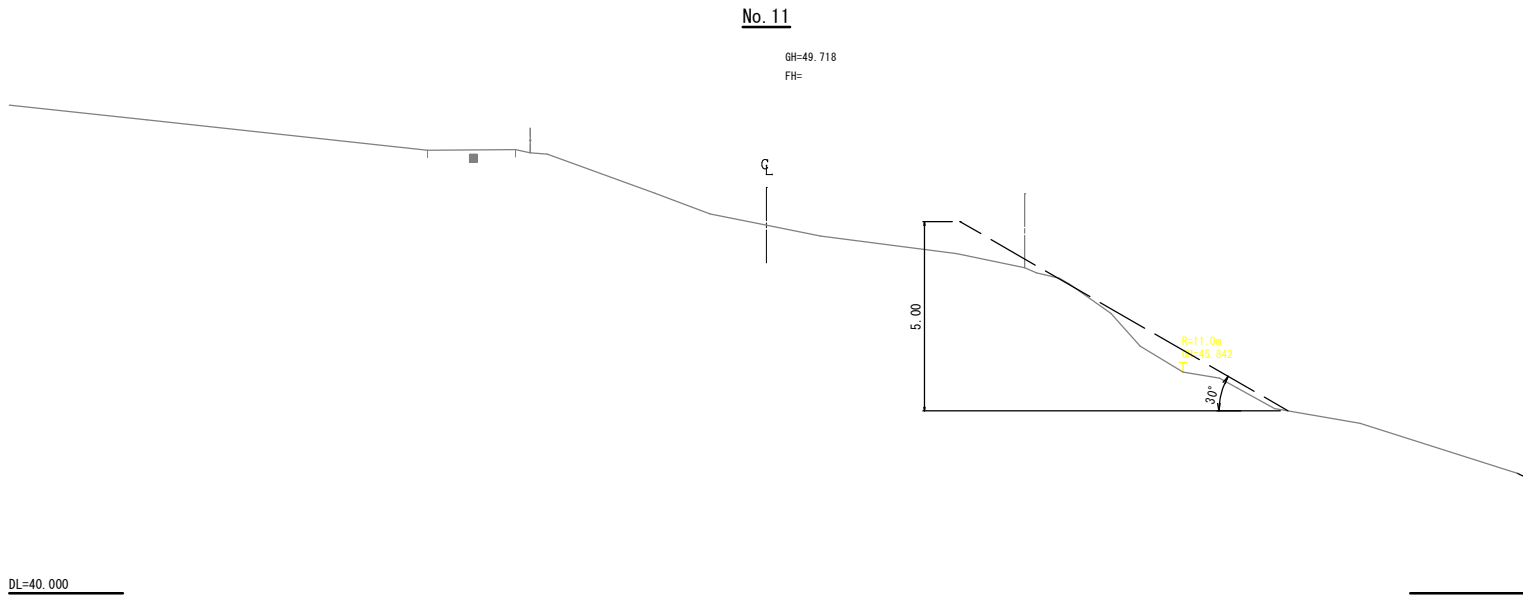
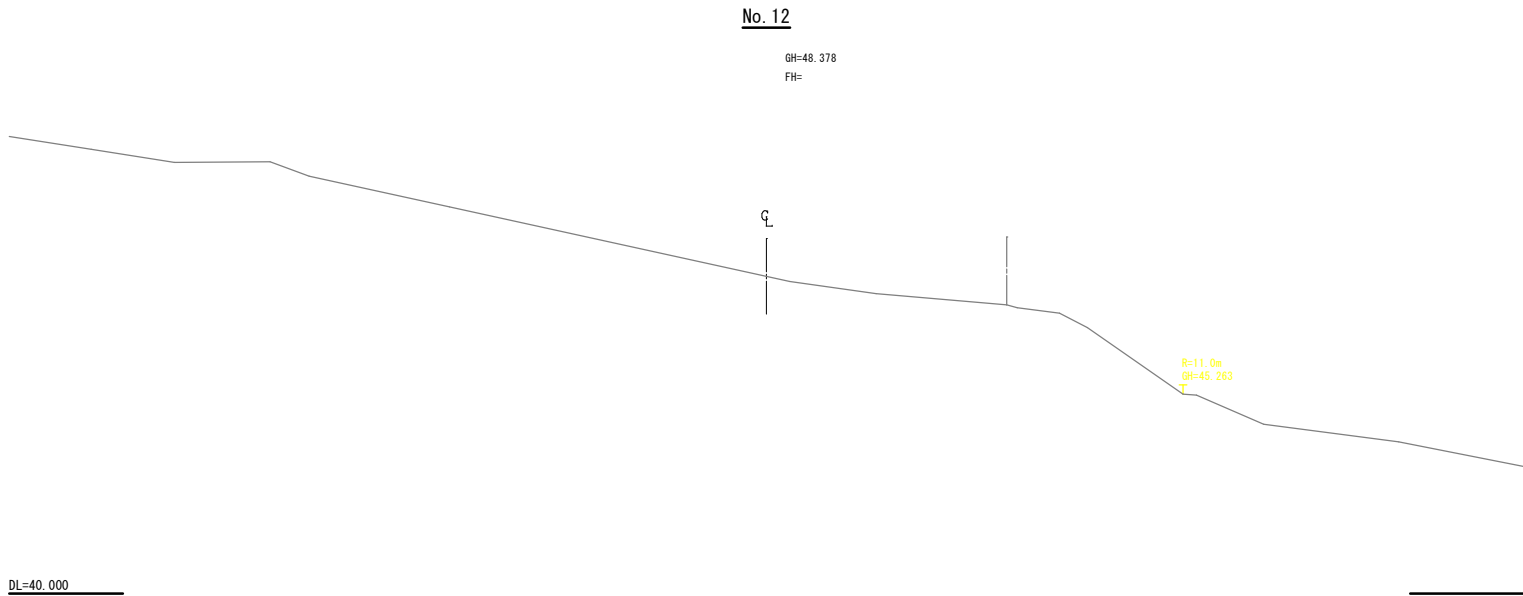
名 称	記 号
急傾斜地下端	
急傾斜地上端	

工事名	伊勢山自然公園法面対策工事		
公園名	伊勢山自然公園		
工事場所	海老名市 国分南二丁目 地内		
図面名	補強ネット工法計画図	縮尺	1:100
図面番号	全 8 葉の内第 2 号		
神奈川県海老名市役所			







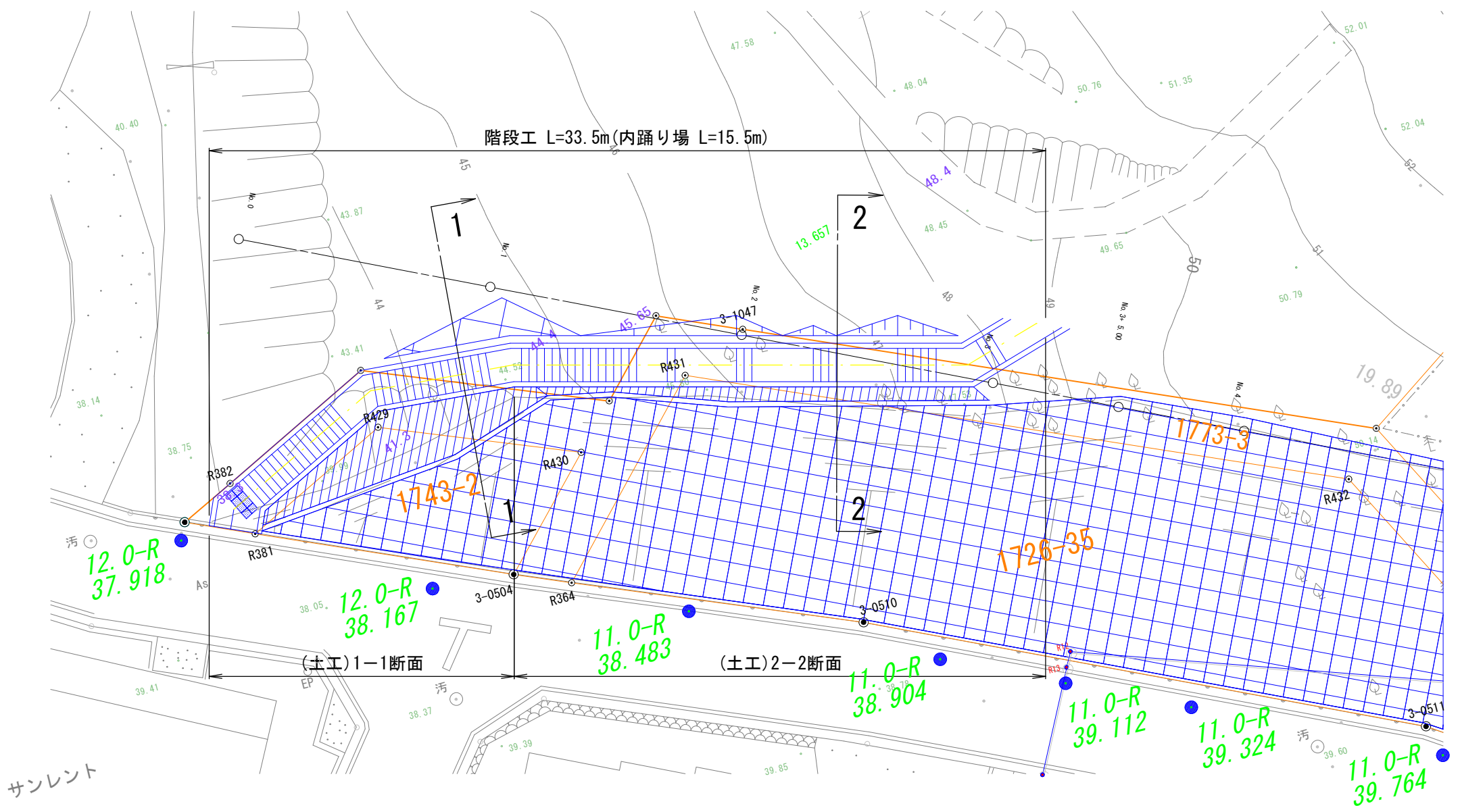


凡 例	
名 称	記 号
急傾斜地下端	▲
急傾斜地上端	■

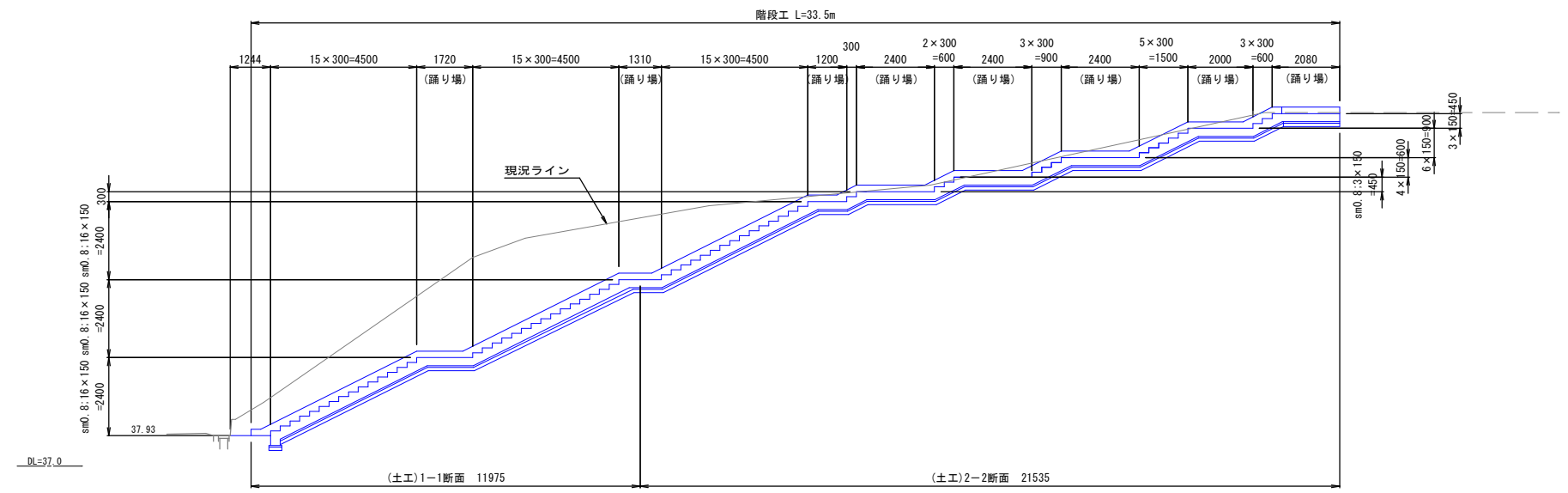
工 事 名	伊勢山自然公園法面对策工事		
公 園 名	伊勢山自然公園		
工事場所	海老名市 国分南二丁目 地内		
図 面 名	横断面図 (4)	縮尺	1:100
図面番号	全 8 葉の内第	6 号	
神奈川県海老名市役所			

階段構造図(1)

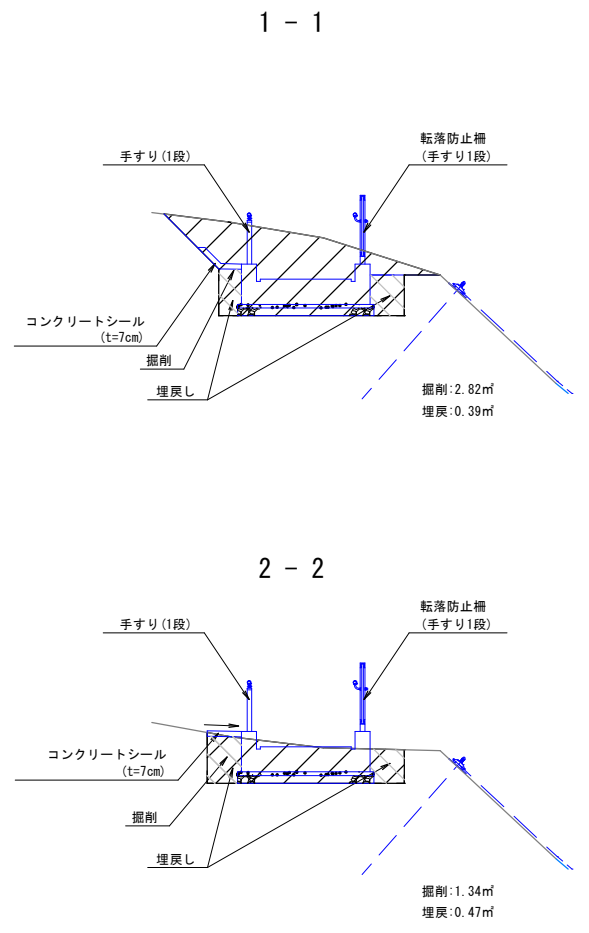
平面図 S=1:200



側面図 S=1:200



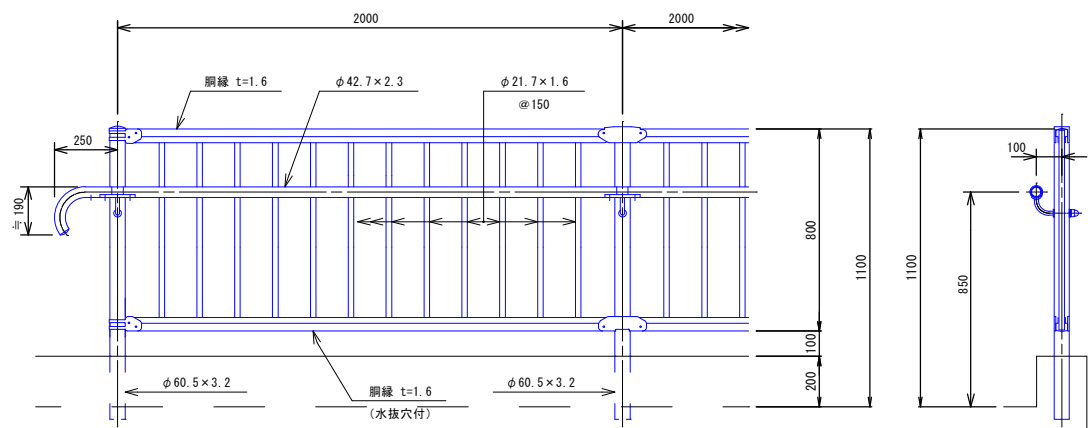
断面図 S=1:100



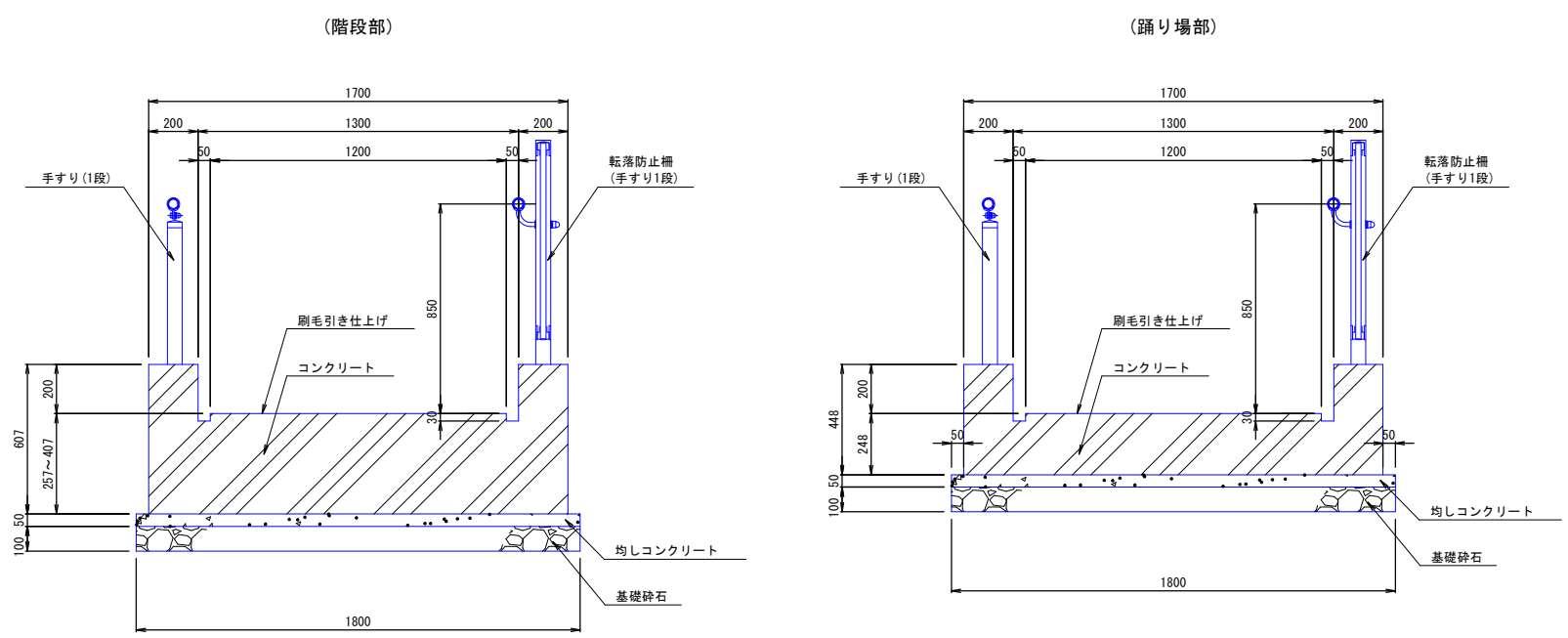
工事名	伊勢山自然公園法面対策工事		
公園名	伊勢山自然公園		
工事場所	海老名市 国分南二丁目 地内		
図面名	階段構造図(1)	縮尺	図示
図面番号	全 8 葉の内第 7 号		
神奈川県海老名市役所			

階段構造図(2)

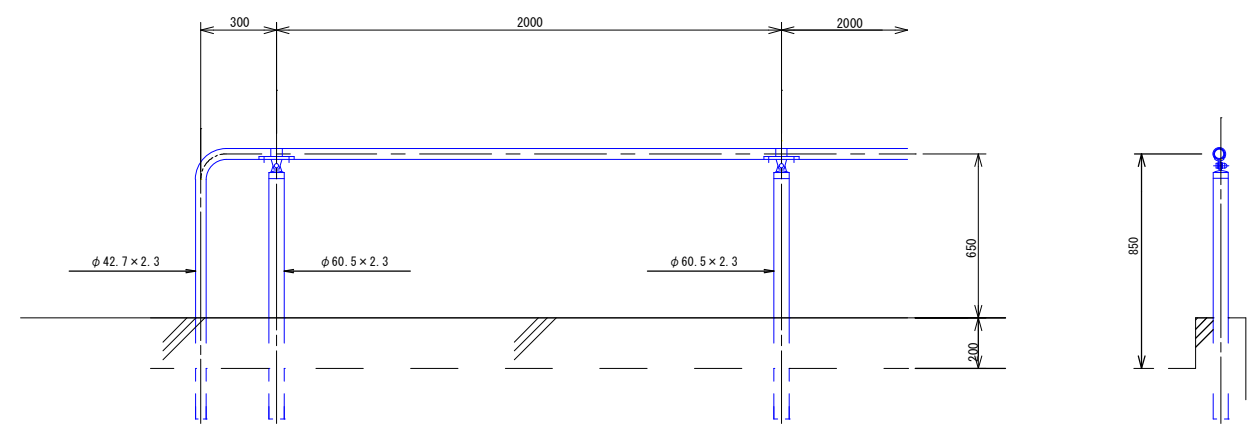
転落防止柵(手すり付) (参考図) S=1:30



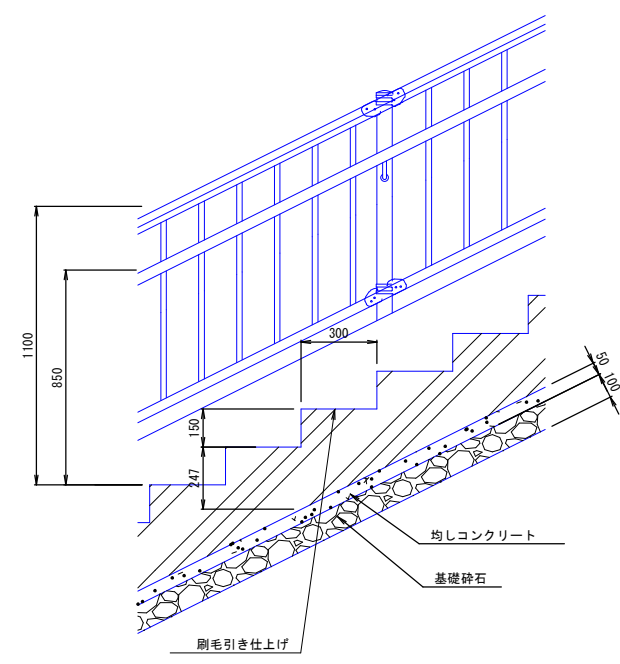
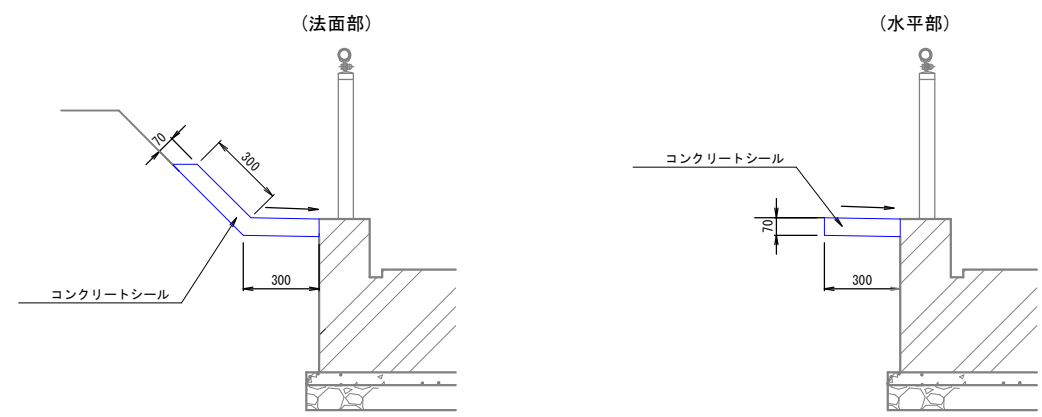
断面図 S=1:30



手すり(1段) (参考図) S=1:30



コンクリートシール S=1:30



材料表(階段部)		10m当り
名 称	数 量	
コンクリート	6.172	m ³
型 枠	30.715	m ²
均しコンクリート	0.900	m ²
均し型枠	1.000	m ²
切込砕石	1.800	m ³
転落防止柵	10.000	m
手すり	10.000	m

材料表(踊り場部)		10m当り
名 称	数 量	
コンクリート	5.026	m ³
型 枠	12.960	m ²
均しコンクリート	0.900	m ²
均し型枠	1.000	m ²
切込砕石	1.800	m ³
転落防止柵	10.000	m
手すり	10.000	m

工 事 名	伊勢山自然公園法面对策工事		
公 園 名	伊勢山自然公園		
工事場所	海老名市 国分南二丁目 地内		
図 面 名	階段構造図(2)	縮尺	図示
図面番号	全 8 葉の内第 8 号		
神奈川県海老名市役所			